

掛川市教育委員会定例会議事録

会 議 名	平成30年 9 月掛川市教育委員会定例会			
場 所	掛川市役所南館 教育委員会室			
開催日時	平成30年 9 月27日（木） 午後 1 時30分から午後 2 時38分まで			
出席者	教育長 教育長職務代理者 委員 委員	佐藤嘉晃 戸塚忠治 永田孝明 橋山鈴代 岩尾千佳子	教育部長 こども希望部長 学務課長 学校教育課長 社会教育課長 図書館長 教育政策室教育政策係長 教育政策室指導主事 教育政策室主任	榛葉貴昭 高川佳都夫 中山弘一 杉浦雅美 戸塚和美 奥野寿夫 水谷忠史 横井和好 石山尚哲

1 協議事項

- (1) 掛川市学校運営協議会規則の制定について (資料 1)

2 報告事項

- (1) 掛川市内小中学校のあらわれについて (資料 1)
- (2) 「吉岡彌生記念館開館20周年記念事業 記念式典及び記念講演会」
実施要項について (資料 2)
- (3) 「白熱サイテク（サイエンス&テクノロジー）教室2018」について (資料 3)
- (4) 平成30年度 全市一斉青少年育成環境美化活動報告について (資料 4)
- (5) 「かけがわ図書館フェスティバル2018」について (資料 5)
- (6) 「第12回かけがわ教育の日」について (資料 6)
- (7) 「世界一短いメッセージ」応募作品数について (資料 7)
- (8) 原野谷学園・城東学園 新たな学園づくり地域検討委員会等経過報告
について (資料 8)

1 開 会

教育長：教育委員会 9 月定例会を開会する。

2 教育委員会 8 月定例会議事録の承認について

意見はなく、承認された。

3 事務報告及び行事予定報告

教育部長から事務報告及び行事予定について、主な事項の説明があった。

4 協議事項

- (1) 掛川市学校運営協議会規則の制定について
教育政策室指導主事から協議資料 1 のとおり説明があった。

委員：横浜市の東山田中学校へコミュニティ・スクールの視察に行った。そこは何もない所に住宅地ができて、学校ができたというのを見た時に、そこで言っていたコミュニティ・スクールは、学校の中に地域の方たちが来て、そこに老人施設のようなものが併用されて、事務所があって、その人たちが毎日通ってくるものだと思っただけで帰ってきた。その時勉強したものと、このコミュニティ・スクールは少し違うのかと思った。今掛川である部分の中で取り入れていくコミュニティ・スクールは、説明のあったそこだという考え方なのか。世間的に言われるいろんな施設が合致した中でのコミュニティ・スクール、学校の中で歳の大きい方々

もそこへ全部集まってくる。建物は全く別でみんなが集まるが、時には交流することはあるが、普段は交流しない。みんなの拠り所になるのがコミュニティ・スクールだと習った。似たようで似ていないと思った。今からの時代はここを推進していくということは、視察の時にも言われていた。そういう方々が日常的に学校に行くとか行かないということはないのか。

教育政策室指導主事：地域の方が入りやすくなるのは、確かに学校運営協議会を入れる中で、地域の方の意見を学校運営に取り込んでいくので、そういう意味ではある。各学校に地域の施設が今あるわけではないが、逆に学校支援という形で、子ども育成支援協議会が学校をサポートしてくれている。その支援をより効率的にするために、そのブレインとなる学校運営協議会の方で、今学校がこういうことで困っているというところを、子ども育成支援協議会と連携を図りながら支援していく形でコミュニティ・スクールを進めていきたいと思う。最初から完成形ではなくて、地域とつながりながら、地域と共にある学校を少しずつ発展させていければと思っている。

委員：原野谷や城東が一体校を作るということで考えていった時に、そういうものも合わせたものを作っていくのかどうか、小中一貫校の話の中では出てくるのではないかなと思う。

教育部長：委員が言われた中で、市長からも言われていることは、小中一体校を作る時は、地域といろんな施設が一緒に入るような、学校そのものも複合化とか高機能化とか、学校単体ではなくて、他の公共施設も入るようなことも一緒に考えてほしいという指示があった。

委員：横浜の東山田中学校も、それが完璧にできあがっていた。ホールがあって、将棋を指しに来たり、物を売ってほしいと言われたら、そこで売ることもできる。入ってくる場所は違うが、みんなが学校に来る。教室は見えるが、向こうとこちらは行き来がない中でできあがっていた。何もない所に町ができて学校ができた。施設をバラバラに作らず、一つを作ってみんながそこに寄る形を作っていた。視察の時には、小中一貫校のことがなかったもので、これは無理だと言ったが、一体校になっていった時には、みんなが集まる施設という考え方を持っていた方が良かったらと思った。

教育長：掛川で言うと放課後子ども教室と学童保育もあって、それが同じ学校施設を使って運営している。地域の中に学童に関わる方、放課後子ども教室に関わる方等が一緒になっていて、その人たちが学校運営協議会の委員になっている。全部があそこにいるような感じになっている。目指すところはそういうふうになると良いと思う。小中一貫の所については、学園で一つのコミュニティ・スクールを置く所も今後出てくるのではないかなと思う。

委員：来年度に向けてということで、人選とか考えていくことがあると思うが、学校評議員の方は無くなっていくということでもいいのか。

教育政策室指導主事：学校評議員は、そのまま学校運営協議会に置き換えていくので、評議員は無くしていく方向である。

教育長：いくつもあると学校も大変になってくる。

委員：協議会の方は、学校運営への関わりはかなり強くなっていく。承認機能、今までは学校の方で学校経営計画を作って、それを評議員に示して、意見をいただくことだが、基本方針を承認することになる。計画を立てる段階から参画していくことになる。

教育長：おっしゃるとおりで、了解を得るのと承認を得るのでは、全然違う。今度は挙手か何かできちんと形になる。なるべくそれが敷居が高くないように、校長もそこは心配している。スムーズに移行できるような方向で進めているところ。

委員：学園化の中では、今言ったようなことになってくるが、原野谷と城東がモデルケースとしてやっていて、まだそこまで行かないところは、二つの学校で一つの協議会にするとか、例えば若つつじ学園は、大須賀中学校と二つの小学校で一つになるとか、その辺の方針は決まっていないのか。

教育政策室指導主事：基本的には、各学校で学校運営協議会を設置する方向に進めたいと思っている。ただ、原野谷と城東は研究を進めている関係で、地域の方も一つ、特に原野谷は一つにしていこうという思いがあるので、そういう所については、二つ以上の学校で一つの学校運営協議会ということ。学園でよく協議したうえで決めていきたいと思っている。

その他意見はなく、承認された。

5 報告事項

(1) 掛川市内小中学校のあらわれについて

学校教育課長から報告資料1のとおり報告があった。

委員：この「あすなる応援団」というのは、どういう団体か。

学校教育課長：資源回収とかで、いろんな企業が賛同している。そういうもので、少しずつお金を貯めている。大浜中ももらったし、横須賀小とか少しずつ貯まったら、タブレットとか電子黒板みたいな物を寄贈してくれている所。

委員：企業はたくさんダンボールが出るので、そのダンボールをまとめて売ったお金をそこへ寄贈する形。

学校教育課長：そういういくつかの会社がNPOで集まっている。

委員：土方だとトリンプがそれをやって、そのお金で城東中学校に太陽光発電と風力発電の付いた物を贈った。1基500万円くらい掛かる物を寄附している。企業単体でやっているか、こうやってみなさんで集まってやっているかの違いだと思う。

委員：学校ごとにやっている資源回収とは全く別のものか。

学校教育課長：別のもの。

(2) 「吉岡彌生記念館開館20周年記念事業 記念式典及び記念講演会」実施要項について

社会教育課長から報告資料2のとおり報告があった。

(3) 「白熱サイテク（サイエンス&テクノロジー）教室2018」について

社会教育課長から報告資料3のとおり報告があった。

委員：「家のパソコンでつづきをやりたと思った」とあるが、このくらいの歳からやっていると先が楽しみ。プログラミングは、今すごく人気なのか。東京の方ではそういう塾のようなものがある。それも人数が多いと聞いた。ゲーム世代なのか。

教育長：プログラミングの学習も始まるということで、人気もあるのかと思う。

(4) 平成30年度 全市一斉青少年育成環境美化活動報告について

社会教育課長から報告資料4のとおり報告があった。

委員：これは中学生が中心で、地域の方が集まって、中学生の今年の年長の子があいさつしたり、中学生が仕切る。それはそれで毎年楽しみにしている。今年あの子ががんばっているとかがわかる。ただ、中学生がいなくなっていく地域もあるので、この存続が難しいというのも一理あるのではないかと思う。あと、この一番暑い時期、8月の第一週で、うちの地域はごみ拾いだけを徹底している。この時には草刈りはしない。違う所では草刈りもしている。地元では9月に入ってまた草刈りがある。8月にごみ集め、9月に草刈り、学校の奉仕作業もある。毎月のように行事がある。秋の草刈りとごみを一緒にした方が良いのか、全市一斉で行う方が良いのか。30年も続けているのに中止にするのは、結構思い切った決断になる。自分の子どもが今年中学3年なので、来年は直接関係しなくなる。家族で毎年参加しているので、無くなるのもどうかと思う。

委員：小学生は地域の方と割と交流するが、中学生になると一気に交流することが減る。何らかの形で地域に何かをするということはやっていくべき。やはり開催時期をうまく考えながら、いつできるかを考えていった方が良く子どもを持つ親としても思う。もう少し時間を早くすれば良いのではと普通に思うが、私たちは、地区で大浜公園の草刈りを朝6時からやっている。別に朝早いことはそんなに苦ではないと思う。その辺を少し考えれば良いのでは。草刈りと一緒にやるのは地域性。私たちも草刈りは6月にやって、9月まで無い。8月はご

み拾いだけ。その辺を地域の中でうまく浸透させていくことも必要ではないか。これはやっているのを見ていて思う。普段会わない子どもとも歩きながら、「おはよう」「こんにちは」「御苦労様」と声を掛け合うことが、地域を育むことが出てくると思う。形は変えても、できるだけ存続してってもらえればありがたいと思う。地域を作っていくということは、この人数が減れば減るだけ、減っている子どもたちを地域に出していくことが必要かと思う。

委員：地域で回ってきた回覧板に、「暑い時期にやるのはどうなのか」と、お茶を終わってから配るが、「教育委員会で負担するべき」と書いていた方がいた。

委員：お茶は持参すれば良いと思っている。

教育部長：参加する人が2万人なので、1本100円だとしても200万円掛かる。これだけの2万人が参加する行事もなかなか無い。

委員：何人出てくるかもわからないのに、お茶を用意して余った分をどうするか。最後に集まったところで、やかんのお茶で御苦労様で充分ではないかと思う。

委員：実際にお茶はどこで負担するのか。

教育部長：各地域。

委員：「青少年何々と長い題目を付けるのもどうかと思う」と書いていた方もいた。それは付けても良いのではないかと思った。

委員：それが趣旨。それが無くなったなら意味が無い。御意見はあっても良いが、その少数の意見にあまり惑わされ過ぎず、ある程度どんと構えてやることはやる、みなさんの意見も聞くということを持ちながらやる。この活動に対してありがたいと思っている方もたくさんいる。自分たちの地域をきれいにするという意味。何も悪いことをしているわけではない。

委員：無くさない方が良くと思うが、例えば小学校のPTAの行事でもやめてほしいという保護者が出てくる。インディアカ大会が30年も続いているのに、もう来年からやめてほしいという保護者がいる。少し運動するのが嫌だとか、うちの子はやらなくていいという感覚の親も増えてきているのでは。

委員：その感覚を減らすためにもやらなければいけないと思う。その意見に負けてやめたら、どんどんなし崩しになっていくと思う。

委員：逆に年配の方ががんばっている。その辺が少しもどかしい。

委員：少数の何かしらの意見が、大きな力を持つこともあるので、聞かないわけではないが、どれくらいの比率があるか見ながら、やっていった方が良い。ここに書かれている1行の文字に一喜一憂し過ぎずに。せっかくここまでやってきた。

(5) 「かけがわ図書館フェスティバル2018」について
図書館長から報告資料5のとおり報告があった。

(6) 「第12回かけがわ教育の日」について
教育政策室主任から報告資料6のとおり報告があった。

(7) 「世界一短いメッセージ」応募作品数について
教育政策室主任から報告資料7のとおり報告があった。

(8) 原野谷学園・城東学園 新たな学園づくり地域検討委員会等経過報告について
教育政策室指導主事から報告資料8のとおり報告があった。

委員：概ね一貫校整備で話が進んでいることは良いと思う。ここまで来るのに骨を折っただろうと思う。ここに出ているように、情報発信をしっかりとって、みなさんに御理解いただくことが筋道だと思う。

6 その他

(1) 次回以降教育委員会定例会の日程等について

ア 教育委員会10月定例会
平成30年10月31日（水） 午後1時30分
掛川市役所南館 教育委員会室

イ 教育委員会11月定例会
平成30年11月22日（木） 午前10時
掛川市役所南館 教育委員会室

(2) 教育委員会研修視察（案）について

ア 日 程（案）：平成31年1月21日（月）～24日（木）のうち2日間
（先方と当方との都合で期日調整）
イ テーマ（案）：家庭教育支援、義務教育学校
ウ 視察地（案）：大阪府大東市「家庭教育支援事業」
大阪府守口市「守口市立さつき学園（義務教育学校）」

(3) その他の予定について

ア 吉岡彌生記念館開館20周年記念式典
平成30年10月20日（土） 午後1時
東京女子医科大学大東キャンパス

イ キラリ！ふれあいコンサート
平成30年10月25日（木）、26日（金）
生涯学習センター大ホール
10月25日（木）午前（9:45開会）：戸塚委員／午後（13:00開会）：永田委員
10月26日（金）午前（9:45開会）：岩尾委員／午後（13:00開会）：橋山委員

ウ 第12回かけがわ教育の日
平成30年11月17日（土） 午前9時
大須賀中央公民館

7 閉 会

教育長：教育委員会9月定例会を閉会する。